



大好き かたびら

令和8年 6月 30日

横浜市立帷子小学校

校長 梅田 佳美

学校だより№4 7月号

TEL 335-5896 FAX 331-5109

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/katabira>

「地域とともに広がる学び」

校長 梅田 佳美

夏の訪れを感じる頃となり、子どもたちは日々の学びの中で、友達や地域と関わりながら大きく成長しています。本校では、地域とのつながりを大切にしながら、子どもたちが自ら考え、行動できる力を育てています。

また、今年度は水泳学習を学校のプールで実施していますが、準備等のご協力ありがとうございます。すぐるでの参加連絡もご対応ありがとうございます。これから暑い日が続きます。学校においても熱中症対策を十分に行ってまいります。ご家庭におかれましてはお子様の体調等にご留意いただきますようお願いいたします。

6年生は、総合的な学習の時間において、SDGsの視点を意識した取組を進めています。その中で、「自分たちにできることは何か」「地域や学校をよりよくするために何ができるか」という問いをもとに、主体的に活動を考えています。

1組では、「自然をより豊かに！生き物や植物と共生」というテーマで、帷子小学校が生き物や植物と共生できる環境づくりを目指しています。中庭に植物を植えたり、自然広場の生き物を増やしたりする取組を計画しています。生き物や植物と人が関わりながら生き生きと暮らし、楽しみや癒しを感じられる場にしていきたいという思いが込められています。さらに、給食室から出る野菜の皮などを活用した土づくりや、植物を育てる活動についても検討を進めています。これらの活動は、自然や命の尊さ、環境を守ることの大切さを学ぶ貴重な機会となっています。

一方、2組では、12年間自分たちを見守り育ててくれた地域の方に恩返ししたいという思いをもちました。自分たちに何ができるのかを考えながら取組を進めようとしています。その活動の一つとして、先日の橘樹神社の例大祭2日目の朝、地域の方々とともにゴミ拾い活動に数名の児童が参加しました。「自分たちにできることから始めよう」という思いを具体的な行動に移した姿が見られました。今後は、この経験をもとに、もっと地域の方々の助けになったり、楽しんでもらったりする取組を計画しています。

5年生は、地域の田んぼをお借りして田おこしと田植えを行いました。田おこしの意味や田植えの仕方について、地域の方々からご指導をいただきました。子どもたちは生き生きと目を輝かせながら、どろんこになって田おこしや田植えに取り組み、実際に体験しなければ得られない貴重な機会となりました。今後も継続して稲の成長を見守りながら、学びを深めていきます。

このように子どもたちは、身近な自然や地域に目を向けながら、自分たちの生活と社会とのつながりを実感しています。その姿からは、これからの社会を担う一員としての自覚が少しずつ育ってきていることが感じられます。

地域の皆様のご協力により、子どもたちの思いを学校での学びへとつなぐことができっておりますことに、心より感謝申し上げます。今後も、地域の皆様にご相談させていただくこともあるかと存じますが、引き続きご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。